

ダニエル・カールの

消防団 たずねあるき

第9回 千葉県鎌ケ谷市

はじめに

今回の「消防団たずねあるき」は、千葉県の鎌ケ谷市にうかがいました。

鎌ケ谷市といえばプロ野球の日本ハムファイターズに入団した斉藤佑樹選手の件で大きな話題になりましたね。オラがおじゃました時は、残念ながら春のキャンプで、すでに沖縄に行ってしまった後でした。

この「消防団たずねあるき」も3年目に入りましたが、関東地方の消防団をたずねたのは今回が初めてです。これは自分でも意外でした。

鎌ケ谷市には、東京駅からJR総武線で船橋駅に出て、東武野田線に乗り換えて10分ほどで着きました。これなら都心への通勤も楽でしょう。

消防職員の方にお出迎えをいただき、消防本部へと向かいます。首都圏にある消防団というのはどんな感じなのでしょうか。どんなお話がうかがえるのでしょうか。

ダニエル はじめまして、よろしくお願ひします。

澁谷団長 こちらこそよろしくお願ひします。

鎌ケ谷市は初めてですか。

ダニエル はい、でも斉藤選手のニュースで毎日のように見聞きしていましたから、なんだか初めてという気がしません。

澁谷団長 そうですか。市内でもこの辺はそうでもありませんでしたが、鎌ケ谷球場のあたりは大変だったようです。

ダニエル そうでしょうね。でも鎌ケ谷市が全国的に一気に有名になりましたね。

澁谷団長 そうですね。うれしく思っています。

ダニエル 鎌ケ谷の名物というところのものがありますか。

澁谷団長 梨ですね。鎌ケ谷市は千葉県内でも有数の梨の産地です。また、梨やぶどうなどの観光農園もあります。

ダニエル それは、洋梨ではなくて和梨ですか。

澁谷団長 そうです。幸水という品種が有名です。

ダニエル そうですか。山形のラ・フランスもいいですけど、幸水もみずみずしくておいしいですね。

澁谷団長 残念ながら、今はオフシーズン

消防団たずねあるき



前列左からダニエル、澁谷団長、後列左から川上副団長、石井方面隊長、小金班長、三上班長

ですが、今度、梨の季節にぜひおいでください。

ダニエル ありがとうございます。

澁谷団長 あとは鎌ヶ谷大仏ですかね。

ダニエル 鎌倉の大仏さんみたいなものですか。

澁谷団長 あんなに大きくはありません。2.3mほどの高さで、日本で一番小さな大仏とも言われています。(笑)

ダニエル 小さな大仏…ですか…

澁谷団長 はい。でも電車の駅名にもなっているんですよ。

鎌ヶ谷市消防団

関東地方の首都圏の消防団である鎌ヶ谷市消防団です。やはり、この地ならではの地域特性や消防団の特性があるでしょう。さっそくお話をうかがいましょう。

ダニエル 鎌ヶ谷市消防団について教えてください。

澁谷団長 1本部、3方面隊、8分団で団員数は166名です。

ダニエル 平均年齢はどれくらいですか。

澁谷団長 37.6歳です。

ダニエル 全国平均が38.8歳ですから、やや若いといったところですね。あっちこっち取材に行くと、若い消防団もあればベテランが多い消防団もありますが、こちらは、ほぼ平均的な消防団ということですかね。

どのような職業の方が多くですか。

澁谷団長 農業が約50%で、自営業者が約20%、サラリーマンが約30%になっています。

川上副団長 ご存知と思いますが、サラリーマン団員が30%というのは、全国的に見てかなり低いです。

ダニエル ですよ。初めて聞く数字です。平日の昼間でも「ちょっと1時間頼む」とい

消防団たずねあるき

ったような自由がききますよね。

澁谷団長 そうですね。7割の人員を確保できますからね。

ダニエル いいですね。首都圏のベッドタウンにこういう消防団があるとは…、意外です。

澁谷団長 市の人口が約10万人で面積が約21km²ということを見ると、消防団の規模としてもバランスがいいと感じています。

ダニエル いろんな意味でバランスがとれているわけですね。

そして、皆さんは「消防団員になりたい!」ということで入団されたわけですね。子どもの頃からの夢として!

一同 (笑)

澁谷団長 今日、出席しているのは、親の代から消防団員という団員たちです。ですから、「消防団に入るものだ」と子どもの頃から考えていたと思います。

川上副団長 澁谷団長、石井方面隊長や私は、強制的に入団させられました。(笑)

少し若い小金班長、三上班長は自発的に入団したのではないのでしょうか。

小金、三上班長 自発的ではないですよ。

一同 (笑)



澁谷団長とダニエル

ダニエル そうすると、2世、3世の消防団員の方も多いのですね。

澁谷団長 川上副団長もそうです。

川上副団長 はい、私は3世です。

ダニエル すごいなあ、それは自慢できることですよ。

オラの父親も消防士で、母方の祖父も消防士でした。従兄弟にも3人ほど消防士がいます。飲み会などの時に、それを自慢したりしています。

それで、若いお二人はどのようなきっかけで入団されたのですか。

小金班長 私の場合は、今のダニエルさんのお話ではありませんが、飲み屋で誘われて…

ダニエル お友達にですか。

小金班長 友達ではなくて、私の父親が消防団員をしていた頃の後輩にあたる方に誘われました。

ダニエル 入団してみてどうでしたか。

小金班長 けっこうおもしろいです。楽しくやっています。

ダニエル そうですか。三上班長はどうですか。

三上班長 鎌ヶ谷市の場合は1分団あたり20人という定員が決まっています、新入団員がいないと50歳くらいでも団員をしている人がいるわけです。そういう立場の人たちが家に来られて、「お前が入ってくれないとやめられないんだ。」「頼むから入ってくれ。」と言われまして… (笑)

ダニエル 「助けてくれ〜」みたいな感じですか。

一同 (笑)

三上班長 まさしく、そんな感じでした。

消防団たずねあるき

ダニエル その方は、お知り合いの方ですか。

三上班長 近所にお住まいの方で、私より20歳ほど年長で、私と同様に自営業の方です。

ダニエル やはり、その方も地元に住んでいて地元で働いている人に自分の後を頼みたかったのでしょうか。そして、入団してみたいがですか。

三上班長 後悔はしていません。

一同 (笑)

ダニエル 微妙ですね。(笑)

三上班長 申し訳ないです。(笑)

澁谷団長 退団するのは自分の後任を確保してからということをご考えますからね。

三上班長 いずれ、私も同じ立場になりますからね。

ダニエル そうですね。今、ヨチヨチ歩きの子どもたちがあなたの後任になるのでしょうか。今のうちからかわいがっておいた方がいいですよ。

一同 (笑)

ダニエル 消防団員になっていろいろあると思いますが、楽しいこと、大変なこと、まとめてお願いします。

石井方面隊長 消防団では、同じ自営業でも違う職種の人とふれあうことができます。

ダニエル 視野が広がるということですね。

石井方面隊長 そうですね。入団したての若い頃には、自分の親と付き合いがあるような年代の人と一緒に活動する中で、いろいろなことを教えてもらえます。そして、消防団員として年数を重ねていくと、今度は自分の息子のような年代の人たちが入団してきます。

このように、さまざまな年代、さまざまな職

種の人と接しながら、一緒に活動することができるのが消防団の楽しいところだと思います。

ダニエル やはりそうですか。消防団員の方からは、よくそういうお話を聞きます。

逆に大変なのは、どんなところですか。

石井方面隊長 サイレンが鳴れば、仕事の途中でも出動しなければならないところです。地元において出動しないわけには行きませんから。

ダニエル お仕事にもよるでしょうけど、例えば、お店にお客さんがいても行かなければならないわけですよね。ボヤであろうが、なんであろうが…

石井方面隊長 そうですね。とりあえず行かなければなりません。

ダニエル 消防団員としては当然のことなんでしょうけど、やっぱり大変なことですよ。

澁谷団長はいかがですか。組織のトップとしては、ご苦労があるのではありませんか。若い人にいろいろと教えたり…

澁谷団長 だいたいのことは、各分団でやってくれています。

一番大変なのは、地域住民との意思の疎通ですね。新規入団者を確保することにもそれが重要です。ところが、「消防団は必要ない」という意見の方も残念ながらいらっしゃいます。

鎌ヶ谷市の場合は大きな災害がなく、それ自体はとても良いことなのですが、消防団のPRを工夫していかなければならないと思っています。

ダニエル そうですか。

川上副団長 消防団活動に対しての理解がなかなか得られない感じがします。「消防署があるのだから消防団はいらない」という考えの人がけっこう多いように感じます。

ダニエル 何もないことが一番ですが、何

消防団たずねあるき



消防団員募集グッズを見ながら



消防団員募集グッズ

かが起こらないと消防団が何のためにあるのか、一般の人にはわかりにくいのでしょうか。

川上副団長 例えば、学校で消防団の歴史といったことについてテキストを作って教えていただけるといいと思います。消防団の歴史は消防署の歴史よりはるかに古いわけですから。昔話のような感じで…。

ダニエル それ、なかなかいいアイデアですよ。学校でなくても、昔話のような絵本を作って配れば、読んでもらえるのではないのでしょうか。

川上副団長 消防団をまったく知らない人に消防団を広めるには、さまざまな取り組みが必要だと思います。

ダニエル いろいろがんばってPRしている消防団もありますよね。テレビの戦隊もののヒーローのようなキャラクターを使って子どもたちを集めてショーをやったりして…、でも昔話風の絵本もいいアイデアですよ。

鎌ヶ谷市のような首都圏の市で生まれ育った人にとっては、消防団の存在感が弱いかもしれませんね。

都会の消防団も訓練をしていて、オラも散歩の途中でよく見かけるのですが、マンションと

マンションの間で訓練をしても、住民の目には触れにくいのでしょうかね。山形では、消防団がよく川原で訓練をしているのですが、遠くからでもよく見えて、誰もが注目している感じがすけどね。

澁谷団長 鎌ヶ谷市の場合も、住民の方が、消防団が活動しているところを見る機会は少ないかもしれませんね。

ダニエル この問題はどうしたらいいのかな。やはりPRですかね…。

川上副団長 広報活動はけっこうやっているんですけどね。消防団員募集のグッズやチラシなどを作って…

澁谷団長 最近、消防関係のイベントがあるときには、消防団員募集の活動をしています。

ダニエル なるほど。実際にその募集活動によって、入団された方もいますか。

澁谷団長 最近始めたことなので、まだ、入団者はいません。ただ脈のある人はいて、鎌ヶ谷市に転入する前に住んでいたところで消防団員として活動していた経験がある方が「入団してみようかな」と言ってくれました。

ダニエル 経験者ですね。そういう方は大歓迎ですよ。

消防団たずねあるき

川上副団長 消防団を経験すれば、その良さがわかるのだと思います。引っ越した先でも入団しようと思ってくれるということは、消防団が魅力的だからなのだと思います。この魅力的な消防団の輪をもう少し広げて行きたいですね。

ダニエル 一度、消防団員になればクセになるんですよ。

一同 (笑)

ダニエル いろいろな良い面があるということ強調しながらPRしなければいけませんね。

川上副団長 先ほど、団長からも話がありましたが、鎌ヶ谷市は人口や面積と消防団員数のバランスがいいと思います。しかも、8個分団が市内に均等に配置されています。各自治会での消火器の講習などを通じて市民と消防団が触れ合う機会はあるのですが、それでも理解度が今ひとつなのです。

ダニエル 他のボランティア団体との連携などはありますか。

川上副団長 イベントを通じたものはあります。市の夏祭りやマラソン大会での警備や運営に消防団員も出動しています。

ダニエル そういうイベントでは、一緒に活動するわけですよね…

川上副団長 先ほども言いましたが、結局、消防署があるから消防団はいらないだろうということなのだと思います。

しかし、例えば火事があったときに現場付近で交通整理をしているのは消防団員です。また、再燃の危険がある場合に夜通し警戒にあたるのも消防団員です。でも、一般の人は、それを行っているのが消防団員だとわからないのかもしれないですね。

ダニエル 消防団員と消防職員の区別がつかないのですね。消防団がそういう活動をしていることを知れば、消防団はいらないなんて言う人はいないでしょうけど、団員と職員が一体となって消防活動をする中で、区別してPRするというのは難しいですね。

三上班長 地域住民の理解もそうですが、家族の理解を得るのもなかなか難しい場合があります。

ダニエル 例えばどんなことですか。

三上班長 「今日、消防団の集まりがある」と奥さんに言っても「どうせお酒を飲むだけでしょう」、「行かなくていい」と言われてしまうという話を聞きます。奥さんは、他所からお嫁に来ての方もいらっしゃいますから、鎌ヶ谷市消防団のことをわからないということもあると思います。

ダニエル そうなんですか。

三上班長 他の市で消防団員をしている友人から聞いたのですが、火災が続いたことがあって、出動しようとしたら、奥さんに「昨日も行っただじゃないの」と言われたそうです。

一同 (笑)

ダニエル 遊びに行っているわけではないのに…

三上班長 奥さんにしてみたら「職業じゃないのに何で毎日行く必要があるの」という感覚なのでしょうね。

ダニエル オラは消防団員さんとお話する機会がけっこうあるので、どうしてわからないのかなと思いますが、家族の理解、職場の理解、一般社会の理解、説得しなければならない相手がたくさんいますね。

川上副団長 だから、どうしても消防団員の

消防団たずねあるき

家に生まれた人が代々消防団員になるということになってしまうのですかね。

三上班長 今、その逆もあります。お父さんが消防団員だったから息子は入団させたくないという場合があります。

ダニエル そうなんですか。なぜですか。

三上班長 理由を聞くと、自分が消防団の酒の席などで苦労したから、息子にはそういう苦労をさせたくないと言われます。最近、勧誘に行っても、そういう理由で断られることがあります。

ダニエル お酒というのは、人づきあいのためには有効なツールだと思いますけどね。ただ、人によってはちょっと行き過ぎる場合があるのかもしれないですね。

まじめに活動しているのに、あまり良くないイメージがついてしまっているのですね。

昔と比べると、消防団を見る目が変わっていますか。

澁谷団長 そうですね。昔の方が理解があったように思います。

石井方面隊長 今は、厳しい目で見られていますね。

昔は、例えば訓練が終わって飲食店に居ると、

地元の方が「ご苦労様」と声をかけてくれました。今、そういうことをしていると「消防団は飲み食いばかりしているのか」という目で見られてしまいがちです。

こういう世の中ですから、それも当然のことなのでしょうが、その前に訓練をしていたということは理解してもらえず、飲食についてだけ厳しく言われるような感じです。

澁谷団長 首都圏のベッドタウンとして人口が増えていく中で、地元の消防団のことを知らない人の割合が増えたということもあると思いますね。

ダニエル 全国的に消防団は自分たちをPRすることに課題を感じているようですね。

でも、がんばってください。オラもおよばずながら、広報消防基金などを通して、消防団をPRしていきたいと思います。

皆さんいろいろとご苦労されていますね。地域のためにがんばっていても、地域の人に理解を得るのは大変なことなのですね。

S-KYT研修

ここで、恒例のS-KYT研修について、お話しをうかがいましょう。

ダニエル こちらでも、消防基金のS-KYT研修を実施されたそうですね。

石井方面隊長 各分団から7名程度が参加して、総勢59名で実施しました。

ダニエル 初めてですか。

澁谷団長 はい、そうです。全体の3分の1ぐらいずつ、3年間かけて研修をしています。



対談風景

消防団たずねあるき

と考えています。

ダニエル S-KYT研修を受けられると、皆さんけっこう感動されるようですが…

石井方面隊長 当初、カリキュラムを見せていただいた時には、4時間に及ぶ研修で、細かい内容が書かれていましたので、正直どうなるかなと思ったのですが、始まってみると、今まで経験したことのないもので、指差し呼称などの実技もあり、少しも長くは感じませんでした。

講師の方々も熱心に親身になって指導してくださり、この研修が自分の身を守ることにつながるのだと実感することができました。

ダニエル 危険要因を把握して活動するということが重要だということですね。

他の消防団でうかがったのですが、消防団活動時ばかりではなく、普段の生活の中にも活かせるということでした。

澁谷団長 鎌ヶ谷市消防団では、公務災害防止を目的にした研修というのはこれまでなかったのですが、新しい取り組みとして良かったと思います。また、講師の手配や開催経費の負担を消防基金でしていただけるということも魅力的でした。

ダニエル なるほど。

澁谷団長 団員たちも、最初は指差し呼称などをするときに出なかったのですが、だんだんと大きな声が出るようになりました。

ダニエル 最初は恥ずかしいのでしょうかけど、その良さがわかると人にも教えたくなるらしいですね。

川上副団長 恥ずかしそうにしていたのは最初の15分ですね。後は大きな声が出ていました。

石井方面隊長 そうですね。最初は声も動作も小さかったのですが、だんだんと慣れていく

にしたがって、しっかりとした実技ができるようになりました。

川上副団長 講師の方々の講義でも慎重に危険要因を把握することの重要性が強調されました。それを前提にして、指差し呼称などの安全を確認する動作を体に染み込ませるということだと感じました。繰り返し行うことで、考えるより先に、安全確認のために体が動くようにするというのを教えていただいたのだと思います。

ダニエル スポーツの練習に似ているような…

川上副団長 体で覚えるということですね。

石井方面隊長 繰り返し行うことで体に覚えさせ、自然と声や動作が出るようにするということでしょう。

ダニエル 仲間意識を強くすることにも効果がありそうですね。

川上副団長 それもありますね。

石井方面隊長 研修を受けているとグループがよい雰囲気になって行きますね。

澁谷団長 グループで活発に意見を出し合い、それをまとめて最後に発表をすることで、



対談風景 2

消防団たずねあるき

一つのことをみんなでやったという達成感が得られたようです。

川上副団長 消防団活動はグループ活動ですから、講師の方々はその重要性も教えてらっしゃったのだと思います。

石井方面隊長 別々の分団に所属している団員で各グループを構成したので、新しい発見もあったようです。

ダニエル なるほど、それでまた友達の輪が広がることにもなりますね。

石井方面隊長 そうですね。

ダニエル スポーツと同じで、最初、同じチームになったときはちょっと恥ずかしいでしょうけど、消防団員は、所属分団は違ってても、同じ目的のために活動しているのですから、乗っつまえばいい感じになるでしょう。消防団員さんは乗りがいいですからね。

一同 (笑)

ダニエル 消防団員は一心同体であるという気持ちを湧かせるのにも、S-KYT研修はいいと思います。

このS-KYT研修は、平成22年度に開催数が大幅に増えたそうで、消防基金では、平成23年度もどんどん開催数を増やしたいということですから、今後もよろしくお願いします。

これからの消防団

最後に、これからのことについてうかがいましょう。

ダニエル それでは、今後の抱負、目標などについて、個人的なことでも全体的なことでも結構ですから、お1人ずつお願いします。

若い方から行きましょう。

三上班長 やはり、地元の理解を得ることだと思います。

私の所属する分団のある地域で住民の方と一緒に活動するのは、祭りの警備ぐらいです。ですから、地域住民のために消防団主動で何かの活動ができればと考えています。

そうすることで、地域住民と消防団の関係を太くしたいです。

ダニエル ありがとうございます。それでは次に小金班長をお願いします。

小金班長 言おうと思っていたことを先に言われてしまって… (笑)

ダニエル それが2番目の難しいところです。(笑)

小金班長 私の場合は、まず、消防団を存続させることです。鎌ヶ谷市の場合、今のところ条例定数は確保できていますが、入団希望者があまりなく、ある程度の年齢になっていて、そろそろ退団を考えている人がいます。消防団員を確保するためには、先ほどから話が出ていますが、自治会との密接な連携を図ることで、自治会からの推薦がいただけるかもしれません。

それと、消防団活動で言えば、例えば救命講習などはもっと受けたいですね。一度受けてはいますが、その内容を忘れがちです。そういう状態では、もし、救命が必要な現場に居合わせても、しっかりと対応ができるか不安があります。

ダニエル 定期的に受講するとか…

小金班長 そうできると一番いいですね。

ダニエル それを地域住民と一緒にやってやれば、地域とのつながりが得られるでしょうね。

消防団たずねあるき

小金班長 消防団員がそれを完全にマスターして、例えば子どもたちに教えて、彼らが大人になれば、消防団と地域のつながりのためには、大いに役立つと思います。

ダニエル ありがとうございます。次は川上副団長をお願いします。

川上副団長 私は、現在の鎌ヶ谷市消防団は理想形だと思っています。市の規模も消防団の規模もあまり大きくはありませんが、全団員が一通りのことができます。他の消防団では、少数でしょうけれども、ホースから水を出したこともなく、そのまま退団される方もいるとうかがったことがあります。でも鎌ヶ谷市消防団でそういうことはありません。

私は、鎌ヶ谷市消防団は「できる消防団員の集まり」だと思っています。ですから、全団員にもっとできるようになってもらいたいのです。

特に、若い団員の皆さんが強い意気込みで、一生懸命に訓練しようという気持ちでやってくれば…

小金、三上班長 やってますよ！

一同 (笑)

川上副団長 失礼しました。(笑)

まあ、皆一通りのことができるので、逆に自分から積極的に動くということが少し足りないかなと感じています。

個人的な希望というか、夢を言えば、たとえば1、2年でもいいので、全ての人が18歳になったら消防団に入るといった制度があったらいいと思います。上下関係や、団体行動など、社会に出て役に立つことが学べると思います。

ダニエル それは言えるかもしれませんね。

川上副団長 こんなこと言うとお叱りを受けるかもしれませんが。

ダニエル ありがとうございます。それでは、石井方面隊長をお願いします。

石井方面隊長 先ほどの話にもありましたが、消防団の存在感が薄らいできています。ですから、地域へのPRをして地域とのつながりを深めて「消防団ここにあり」といった存在感を積極的に示して行きたいと思います。

若い人が入りたがるような、その親御さんでも入れなくなるような消防団にしていかなければならないと思います。そのためには、消防団についてもっと知っていただく必要があると思います。

ダニエル 知っている人間からすると、なぜ知らないのかがわからないですけどね…。現代の日本人は何かと忙しすぎて、なかなか消防団のことまで気が回らないのかもしれないですね。

ありがとうございます。それでは団長をお願いします。

澁谷団長 皆が言ったように、やはり地域住民の理解を得ることが第一ですね。それから個々の団員のレベルアップも大事です。

私も、全団員が訓練を積んでさらにできる消防団員になって欲しいと思っています。そのためにも、消防団全体の訓練や分団ごとの訓練に、より積極的に取り組んで欲しいと思います。

ダニエル ありがとうございます。

今回も貴重なお話をお聞きすることができました。

消防団というのは、本当に地域ごとにいろいろな特性があり、問題を抱えながらも前向きに活動されているんだということを再確認することができました。

消防団たずねあるき

実力派

実は、今回は「話が盛り上がるかなあ」とちょっと不安でした。というのは、都会の人は人見知りだというイメージがあったからです。でも実際は、とても活発な対談になりました。

団員さんどうしの会話も、階級や年齢に関係なくものが言える雰囲気、本音でやり取りをされていました。それは、そうすることができる雰囲気を澁谷団長を始めとする消防団幹部が作っておられるからでしょう。消防団として、いろいろな問題があることを感じながらも、明るい対談となりました。

何よりも、自分たちの消防団に自信を持って「全団員が一通りのことはできる」という言葉が印象的でした。当たり前のことなのかもしれませんが、当たり前のことを当たり前でできるということは、大事なことだと思います。サラリーマン団員の増加が問題になっている昨

今ですが、7割の消防団員が常に地元にいるということも、その自信につながっているのだと思います。それも含めて、まさに、実力のある消防団ですね。

規模は大きくありませんが実力派です。それこそ「小さな大仏」という感じでしょうか。

終わりに

鎌ヶ谷市消防団はしっかりとした力を持ち、しっかりとした活動をされています。楽しい対談をさせていただきましたが、団員さんたちが気にされていた地域の理解が十分に得られていないということが少し気がかりです。

でも、地域のことを思って活動している実力のある消防団ですから、きっといつか深い理解が得られるでしょう。

鎌ヶ谷市消防団の皆さん、これからも鎌ヶ谷市のために、元気でご活躍を！



消防団旗を囲んで